

Honjo Rotary Club weekly report

Rotary International District 2570 Group 4



No.54-1 第2575回 例会2016年7月7日 (木)

クラブ協議会

会長 中島高夫 会長エレクト 渋澤健司
副会長 巴 高志 野田貞之 飯塚明男 幹事 坂本雄一
2016～17年度国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム
第2570地区ガバナー 前嶋修身

進行：SAA 坂本優蔵 チーフ
国歌：君が代

点鐘：12:30 中島高夫 会長
ソング：奉仕の理想

会長の時間

中島高夫 会長

皆さんこんにちは、2016～17年度の第1回目の例会にご多用の中多くの会員の皆様に出席を頂き大変ありがとうございます。心より感謝申し上げます。本日の来訪者の紹介をさせていただきます。米山記念奨学生のティーシャさんです。後ほど奨学金をさしあげますのでお受け取り下さい。本年度本庄ロータリークラブ創立54年目を迎える、歴史と伝統のある、このクラブの会長職を受けることになり、責任の重大さに身の引き締まる思いで今この場に立たせて頂いております。



諸先輩の方々が築き上げた歴史と伝統を守り、さらに発展をさせていかなくては成らないと思っております。又歴代会長、役員、理事の方々そして、会員全員のご協力がなければ、勤めることのできない責務と感じております。

振り返ってみますと本庄ロータリークラブに入会して18年になります。

忘れる事のできない事故を経験しました。5月27日ロータリーの国際大会が韓国で開催され、参加する為に、本庄ロータリークラブから、11名の方が羽田から飛行機で韓国に向かう時に事故が起きました。死ぬかと思うほどの、体験をしました。11名の命を天が救ってくれました。生かされた1人として、これからの人生日々を大切に過ごしていこうと思っております。

会長として大変未熟です、皆様方のお力添えをいただきながら1年間全力で取り組み、精一杯勤めたいと思いますので宜しくお願い致します。

ロータリーには、守らなければならない3つの規則がございます。会費を納める事、例会に出席する事、ロータリーの友を読む事の義務があります。

ロータリーは素晴らしい仲間と出会い、奉仕の機会をつくり、実践する事によって大きな希望、喜び心の感動を与えてくれるのだと思います。私利私欲を交えず真心を持って人や物事に対して接

していき、楽しく参加しやすい例会を心がけていきたいと思っております。

2016～17年度 国際ロータリー会長のジョン・ジャーム氏のテーマは[人類に奉仕するロータリー]であります。私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち[奉仕]のためです。

1905年シカゴの青年弁護士ポール・ハリスによってロータリークラブは誕生しました。ロータリー設立の経緯について次のようにつづっています。

[個人の努力は個々のニーズに向けることができます。しかし大勢の努力の結集は、人類の奉仕に捧げなければなりません。]いつの日か120万人以上のロータリアンが一体となり、駆使して人類への奉仕に取り組むことになるとは想像もしていなかった事だと思っております。私たちにはこのような奉仕を行っていく責務があると思っております。

ロータリーの奉仕にはクラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年があります。世界に目を向けると、安全な水の提供、疾病の予防、識字率の普及、新世代のための活動や、将来への準備をさせることはロータリアンの責務と感じております。これらを実行するには、まず周りの人々に対して真心をもって接していき生活や地域社会全体を通じて思いやる、気持と援助は言うまでもありません。

今現在72名の会員が在籍しております。本年度の目標として、会員増強、出席率の向上、元気あるクラブの活性化を目指していきます。昼間の時間が取れないという話を聞きます。例会に出席して頂く為に夜の例会を月に1回増やし、出席率の向上に勤めていかなくては成らないと思っております。本年度のクラブテーマを[親和と誠実]奉仕が繋ぐロータリーの輪と掲げました。

ロータリーの素晴らしい仲間達と共に、親睦活動を通じて多くの会員が集い、ロータリーの輪の中に参加し、そして活気ある例会を心がけていきたいと思っております。素晴らしい1年になります様、諸先輩方、会員皆様方のご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

以上 会長の時間とさせていただきます。

